

《修士論文要旨》

朝鮮出兵前後から鎖国成立までの海域勢力の琉球認識

北島 朋子^{*}

本稿では十五～十七世紀の、所謂大航海時代に相当する年代における東アジア海域諸勢力から見た琉球認識と琉球の動向について論じたものである。

第一章 壬申倭乱直前の明・朝鮮・琉球

一五九二年直前の明・朝鮮両国の国内情勢だが、両国とも開戦直前は財政困窮や派閥争いなどで国が正常に運行されておらず、特に朝鮮は短期間のうちに与野党が激しく入れ替わり政策方針が安定していなかった。

また軍備状況も長らく倭寇以外で目立った反乱がなく軍はほぼ形骸化しており、李成圭による篡奪国家という成り立ちから地方軍の権限が弱く、実戦経験に乏しい現状であった。一五九〇年十一月、正使に西人派黄允吉・副使に東人派金誠一らの通信使を日本に派遣するが、対等な国として通信使を送ったはずが、宗氏が秀吉に日本への服属使

節として説明していたため、一方的に「征明嚮導」を命じられる。また通信使出国時は西人派、帰国時は東人派が政権を握り、結果「日本による侵略無し」を主張する副使金誠一の報告が採用され防衛活動を怠ることになる。

明への通報をめぐっても両派閥が激論を繰り広げ、結局金応南らを明に派遣し倭情を報告するが既に琉球などによって「朝鮮裏切り」が報告されており、大きく出遅れた結果明から執拗な裏切り疑惑を持たれ弁明に奔走することになる。

一方、琉球は尚永が島津氏に対して慶賀使者を細かく派遣して親島津方針を採り、島津側もこの対応に対して友好関係を持つことに前向きになっていた面がある。だが尚永が急死して即位した尚寧が一転して反島津方針を打ち出す。

島津氏側も豊臣政権に降伏したが決して従順ではなく、再三に渡り軍事制裁をちらつかされ琉球以上に苦しい立場にいた。これらのことから反抗的な尚寧政権へのいら立ちが抑え切れず、秀吉同様に軍事制

裁を琉球に対して表明するようになり、壬辰倭乱の際に引き続き兵糧を負担するように要請したところ、琉球が断ったことが後の琉球侵略の口実の一つになっている。

第二章 「朝鮮裏切り」報告を巡る動向

一五九一年四月に鄭廻を中心として明に征明計画を報告し、同年五月に朝鮮から金応南らが倭情報告のため明に来ているが、すでにこの時琉球による情報が明で蔓延していた。

明は朝鮮に裏切り疑惑を抱き再三に渡り事情報告を命じ、朝鮮に対し密偵活動をさせていた。朝鮮はこうした執拗な裏切り疑惑にその都度弁明を繰り返して、国王の逃走計画問題や救援の明軍への功労問題に苦慮することになる。

琉球の意図は不明だが、当時解禁政策の緩みで中継貿易拠点として機能しなくなってきたこと、尚寧政権が反島津政権であり日本の圧力から逃れるため、より明に気に入られるために朝鮮を陥れようとした可能性がある。明と朝鮮の動向をみる限りこの計画は一応の成功を収めたらしく、尚寧冊封問題でも琉球側は自分の意見を明に押し通すことに成功している。

第三章 江戸幕府による対西洋政策と琉球侵略

一六〇九年に琉球は幕藩体制下に組み込まれるが、その直前の尚寧冊封が非常に難航していた。謝名一族による大反乱や尚寧が浦添分家出身と王権が不安定になっており、どうしても旧来通り文官派遣による冊封をしてもらう必要があった。しかしこれは両国に大きな負担が掛るものであり、明側の妥協案を全て跳ね除けてまで旧来の冊封に拘っている。先の朝鮮侵略時の情報提供による貢献から結局明側が折れることになるが、確実に琉球への印象を悪くしたと思われる。

また日本各地で発生したキリシタン事件だが琉球では八重山島で発生した一件のみ記録に残されている。琉球はマニラからアジア方面への立地が良く、ここを足がかりに日本・中国への布教を計画するなど宣教師達から注目されていた。八重山島で発生したキリシタン事件はこうした動きを裏付けるものであり、薩摩藩は琉球王府が出した判決に介入しているなど経済面だけでなく、思想面でも琉球は日本への従属を深めていくことになる。

第四章 琉球侵略に対する朝鮮王国の評価

朝鮮と琉球の通交は三山時代に中山王察度が使者を送ったことが始まりである。一連の通交は琉球側が一方的に行っていたようであり、直接通交は尚巴志王晩年までの約五〇年で終わっている。それでも朝

貢使などは明で互いに交流する機会があつたため、全く縁が無くなつたわけではない。

朝鮮が島津氏の琉球侵略をどう受け止めていたかが、意外にも朝廷内で話題に上ることは少ない。明が琉球と日本の通交を過剰に疑い琉球が弁明をしていたにも関わらず、あくまでも事務的な報告に留まっている。

これにはそもそも朝鮮は琉球を低く見ており、壬辰倭乱の際に「琉球は既に日本に屈した」という情報が出回っていたことから、一六〇九年時点で既に琉球は日本の傘下にあると認識していたためと思われる。